

令和4年

太子町議会第500回記念
太子町中学生議会 会議録

日時：令和4年8月22日（月）
午前10時30分開会

場所：太子町役場 議場

兵庫県太子町議会

太子町議会第500回記念 太子町中学生議会 会議録目次

令和4年8月22日

議事進行順序

1. 一般質問

議事日程	1
本日の会議に付した事件	1
会議に出席した中学生議員	1
会議に出席した事務局職員	1
説明のため出席した町議会議員	1
議長あいさつ	1
開 会	2
開 議	2
会議録署名議員の指名	2
会期の決定	2
一般質問	2
藤 尾 あめり 議員	3
宗 野 智 輝 議員(坂 田 麗 雄 議員)	4
渡 邊 莉 世 議員	5
國 廣 ゆうあ 議員	6
西 尾 咲 夢 議員	8
安 田 芽 咲 議員	8
前 田 愛 羅 議員	9
大 西 遥 稀 議員	11
久米田 琥 悠 議員	13
安 田 夏 音 議員	14
鈴 田 海 咲 議員	16
閉 会	17
議長あいさつ	17

太子町議会第500回記念 太子町中学生議会 会議録

令和4年8月22日

午前10時30分開会

議事日程

- 1 会議録署名議員の指名
- 2 会期の決定
- 3 一般質問

本日の会議に付した事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 2 会期の決定
- 3 一般質問

会議に出席した中学生議員

太子東中学校3年 大西遙稀	太子西中学校3年 鈴田海咲
太子東中学校3年 安田夏音	太子西中学校3年 久米田琥悠
太子東中学校2年 國廣ゆうあ	太子西中学校3年 渡邊莉世
太子東中学校1年 安田芽咲	太子西中学校3年 前田愛羅
太子東中学校1年 坂田麗雄	太子西中学校3年 西尾咲夢
	太子西中学校3年 藤尾あめり
	太子西中学校3年 藤本絢

会議に欠席した中学生議員

太子東中学校3年 宗野智輝

会議に出席した事務局職員

局長 森文彰	書記 蛭井のり子
書記 清水美紀	書記 竹田早紀

説明のため出席した町議会議員

町議会議員 中島貞次	町議会議員 藤澤元之介
町議会議員 井村淳子	町議会議員 清原良典
町議会議員 首藤佳隆	町議会議員 中敷清志
町議会議員 上山隆弘	町議会議員 玉田正典
町議会議員 長谷川正信	町議会議員 吉田正之
町議会議員 森田哲夫	町議会議員 出原賢治
町議会議員 松浦崇志	

会議に欠席した町議会議員

町議会議員 堀卓史

議長挨拶

○議長（中島貞次） 皆さんおはようございます。

開会に先立ちまして一言御挨拶を申し上げます。

連日猛暑が続いており、また新型コロナウイルスの感染拡大が継続している中ではあります
が、中学生議員の皆さんにおかれましては、元気に、本日議場にお集まりいただき、ありがとうございます

ございます。太子町議会は今から71年前の昭和26年に第1回町議会が開催され、今年の9月定例会で第500回となります。8月29日に初日を迎える第500回町議会を前に、このように太子町中学生議会が開会できることは、誠に喜ばしいことです。普段、議会の中で私たち議員は、行政に対し一般質問という形で様々な質問をしますが、本日は中学生議員が太子町議會議員に質問するという形で一般質問が行われます。中学生議員の皆さんには初めての経験で緊張や戸惑いを感じているかもしれません、私たち議員も答える側は初めてですので緊張しています。お互い慣れないうちでありますが、実りある機会となることを願っています。以上、誠に簡単措辞ではございますが、開会の御挨拶といたします。

~~~~~  
(開会 午前10時03分)

**○議長（中島貞次）** 本日、宗野智輝中学生議員及び堀卓史町議會議員より欠席の旨連絡をいたしております。

ただいまの出席議員は12名です。定足数に達していますので、ただいまから太子町議会第500回記念太子町中学生議会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配りましたとおりです。

なお、新型コロナウイルス感染症予防対策として、答弁は着席したまま行うこととします。ご留意ください。

これから日程に入ります。

~~~~~

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（中島貞次） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、太子東中学校坂田麗雄議員、太子西中学校藤本絢議員を指名します。

~~~~~

### 日程第2 会期の決定

**○議長（中島貞次）** 日程第2、会期の決定を議題にします。

お諮りします。

本中学生議会の会期は本日1日としたいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

**○議長（中島貞次）** 異議なしと認めます。したがって、本中学生議会の会期は本日1日と決定しました。

~~~~~

日程第3 一般質問

○議長（中島貞次） 日程第3、一般質問を行います。

質問されます議員諸君に申し上げます。

質問は通告に従い行ってください。一問一答方式で行います。質問、答弁が終わるまで一般質問席でお願いします。

なお、念のため申し添えますが、質問、答弁は簡潔明快にお願いします。

さらに時間制により質問を行うこととなっておりますので、よろしくお願いします。

それでは、順番に発言を許します。

まず、藤尾あめり議員。

○藤尾あめり議員 太子西中学校3年藤尾あめり、通告に従い質問します。

太子町の暮らしの便利帳に「議会の役割は、町の仕事に町民の意見を反映させ、町民生活の安定と向上を図っていくことです。」と書いてありますが、実際にはどのようなことをされているのですか。また、議員として叶えたい夢や目標はありますか。

○議長（中島貞次） 藤澤元之介議員。

○藤澤元之介議員 町議会ってまず何をするところかというと、例えば、皆さんのクラスには学級会があり、クラスの決まりについて考えるよう、みんなが住みよい太子町をつくるために町の決まりやお金の使い方（予算）などについて話し合い、決めるところが議会です。じゃあ具体的にどういうことをするかというと、4つあります。

1つ目は、町のルール（条例）を決めたり、改めたりします。それから2点目は、町の仕事をするための予算を決めたり、そのことが正しく使われているか確認をしたりします。3点目は、町の仕事が町民のために正しく行われているか調べます。4点目は、国や兵庫県に対してこうしてほしいという意見を出します。以上、4つの具体的な内容で議会が運営されています。

それから次に、議員として叶えたい夢や目標についてということですけども、私はお隣にあります㈱東芝太子工場に勤めております。議員と兼業をしています。今から18年前の2004年にカラーブラウン管テレビの製造が終了しまして、多くの従業員やその家族の生活に大変大きな影響がありました。皆さんで言うと、例えば今、学校に通っていますけども、その中学校がなくなったら、明日からどうすればいいのかと。そのような非常に大きな不安が募ってくると思うんですけども、そのような感じで多くの方々が不安の中、路頭に迷ったという形です。二度とそのような悲しく、つらい思いをしないように、今ある㈱東芝太子工場がなくなるないように、事業の拡大と、できれば新規事業の誘致などによって、皆さんのが安全で安心して働ける場所というものを指しています。そのことは、最終的には将来、この町の持続可能な発展につながると信じて、皆さんに事業の理解だとか、あるいは協力を得られるようにという形で議員活動をしています。以上です。

○議長（中島貞次） 藤尾あめり議員。

○藤尾あめり議員 今の仕事は楽しいですか、それとも大変ですか。理由も合わせてお答えください。その他、悩みなどがあればお聞かせください。

○議長（中島貞次） 藤澤元之介議員。

○藤澤元之介議員 正直に言いますと、非常に大変なほうが楽しいというよりも勝っています。しかし、地域の課題だとか、地域の要望、皆さんのが声を聞いて、その要望などが解決できて、政策が実現できる、人のために何かをやり遂げられる充実感ということが非常にあります。また議会で町民の声を代弁して、皆さんと一緒に要求を実現させるという活動、改善をしていくという活動は、非常にやりがいがあると思います。町民の気持ちや要望に寄り添うよう努めることで、自分自身も成長していると思っています。小さなことでも、いつかこれが誰かの役に立つと信じれば、これほどやりがいのある仕事はないと思います。

町議会議員になる条件というのは、まず太子町民であることと、皆さんのが10年後、25歳以上になるということです。また町民の皆さんの身近な議員になるには、素朴な違和感などを常に抱くというか、小さなことでも気づくということが大切ではないかなと思っています。そこで、理想的な地域社会を考えて、つくっていける出発点にもなりますし、この機会を通じて、ぜひとも将来、この議員の仕事に興味を持ってほしいと思っております。以上です。

○議長（中島貞次） 藤尾あめり議員。

○藤尾あめり議員 議員の仕事は大変だということを知りました。これからも町民のために頑

張ってください。ありがとうございました。

○議長（中島貞次） 以上で藤尾あめり議員の一般質問は終わりました。

次、宗野智輝議員ですが、本日欠席されておりますので、かわりに坂田麗雄議員が質問されます。

坂田麗雄議員。

○坂田麗雄議員 太子東中学校3年宗野智輝代読、太子東中学校1年坂田麗雄、通告に従い質問いたします。

僕は今まで議員になりたいと考えたことがありません。そのため、太子町議会の議員の皆さんのが、どんなきっかけで議員になろうと思ったのか気になったので、その理由を伺います。また、いつぐらいから議員を目指し始めたのか、あわせて伺います。

○議長（中島貞次） 中藪清志議員。

○中藪清志議員 坂田議員と宗野議員の質問にお答えいたします。

私は学生時代から生徒会活動にずっとかかわってきました。同級生や学校のために何かできないかという気持ちが強かったのだと思います。それが今は皆さんをはじめ、太子町の住民の方のために役に立ちたいという気持ちになっていると思います。私が中学生のとき、校則で男子生徒は丸坊主という決まりでした。高校受験を控える3年生のときに、その校則を変更するために、生徒や保護者にアンケートをとり、校則改正のスタートを切ったことを思いだします。

約12年前に町議会議員へ立候補を決めたときに、私には小学生の子どもが4人いました。私は太子町が大好きで、子どもたちも同じように、太子町をもっと好きに、大人になっても好きなままでいてほしいという気持ちから、太子町をもっと元気に盛り上げたい、良くしていきたいというふうに思ったことがきっかけです。

そのあとは議会を見学に来たり、地域の方といろいろお話をしたりして情報を集めました。皆さんもこれから夢や目標に向かって進路を考えることがあると思います。今はインターネットで多くの情報をすぐに得することができますが、実際に進学、就職している方の声を生で聞くことは、リアルな体験や雰囲気を感じることができるのでお勧めです。

今日は宗野議員にお会いできていませんが、町内のどこかでお会いしたときには、またお話しできればと思っております。以上です。

○議長（中島貞次） 坂田麗雄議員。

○坂田麗雄議員 僕は今、中学1年生ですが、学生時代はどのように過ごしていましたか。どのような学生時代を過ごした人が議員になられたのか気になったので、お伺いいたします。

○議長（中島貞次） 中藪清志議員。

○中藪清志議員 学生時代ですけれども、生徒会と部活、また友達と一緒に遊ぶことが一生懸命でした。勉強は、日々震えながら頑張って、歯を食いしばってやっていました。以上です。

○議長（中島貞次） 坂田麗雄議員。

○坂田麗雄議員 最後に、議員の皆さんは……

○議長（中島貞次） お待ちください。その前に坂田麗雄議員の質問に対してもう1名答える議員がございますので、先にそちらから答えてもらいます。

上山隆弘議員。

○上山隆弘議員 宗野議員のかわりに代読、お疲れさまです。

最初にされた質問のほうからお答えします。私自身は議員という立場を考える前に、ふだん身近にある教育、あるいはまちづくり、生活をしている社会に対して意識を持ったのが最初のきっかけです。それは当初、おぼろげな形でしたけれども、社会人になり一層意識を持つようになります。

ました。大学にいま一度行き直そうかなと考えているときに、とある会社の社長より「うちの会社に来ないか」というお誘いを受け入社しました。そのころには選挙にも興味を持ち、政治にかかわる方の発言や政治にも目を向けていました。22歳くらいでした。一番身近で育った町の政治にかかわりたいと決めたのは、25歳のころです。そのときの理由、それは町議会議員の平均の年齢、議員全員の平均年齢が70歳前後であり、その方々が言っていることよりも自分が考える思いをみずから形にしたい。つまりは人に任せることではなく、自らがそこにかかわることで答えを出したいと思ったというのが最初の立候補するときの気持ちでした。それが26歳でした。もちろんそのために必要な努力、あるいは、様々な場面での活動、大変なこともあります、自分にとっては一つ一つが楽しいもので、それが身になって今に繋がっているというふうに理解しています。

それから、2つ目の「どんな学生時代でしたか」という質問については、学生時代は特別何か目立ったり、特別人と変わったようなことはなくて、ごく普通の学生だったと思います。ただ友人や当時お世話になった先生方に聞くと、少し個性的ではあったのかなと、客観的に見ると考えます。落ち着きのないところはあったかもしれませんね。以上です。

○議長（中島貞次） 坂田麗雄議員。

○坂田麗雄議員 最後に、議員の皆さんはふだん何を大切にして過ごしていますか。町民のために働いている皆さんが人生で一番大切にしていることは何か気になったので、お伺いいたします。

○議長（中島貞次） 中藪清志議員。

○中藪清志議員 私の大切にしていることですが、まっすぐ誠実であること。それと、弱い立場の方を助けることが大切だというふうに思ってふだんから活動しております。以上です。

○議長（中島貞次） 上山隆弘議員。

○上山隆弘議員 まず大切にしていること。これはふだんも人生においても一つではありません。大切なことに気づく心は大切にしています。ふだんは食事もそうですし、特にいざれ分かると思いますが、私、今年46歳になりますけども、必ず体は老化していきます。そのために、食事も大切なことです。体が健康でいるということが大切ですので、やはり自分自身がいろんなことに気づき、いろんなことに挑戦をしていく、いろんなことをどんどん前に進めるために、必要なことはすべて大切なことです。ですので、新たなことに挑戦する気持ちであったり、新たな情報に気づく気持ちを持って日々過ごすことを大切にしています。特に若いころはそういった力というのがありますが、どうしても年を取ってくると諦めがちになります。そういういた気持ちをなくさないように、いつまでも挑戦する気持ちを大切に今後も努めていきたいと思います。以上です。

○議長（中島貞次） 坂田麗雄議員。

○坂田麗雄議員 質問に答えていただき、ありがとうございました。以上で一般質問を終わります。

○議長（中島貞次） 以上で坂田麗雄議員の一般質問は終わりました。

次、渡邊莉世議員。

○渡邊莉世議員 太子西中学校3年渡邊莉世、通告に従い質問します。

今の太子西中学校の体育館の窓は下向きに開く窓のため、換気面や熱中症対策の面からもよくないと思います。中学校の体育館は、ふだんは集会や行事、授業、部活動などで使用されていますが、災害時には避難所となり、多くの住民が体育館で生活することになります。そのため、暑さや換気などの面から扇風機や空調などの対策が必要だと思うのですが、どう思われますか。

○議長（中島貞次） 玉田正典議員。

○玉田正典議員 確かに窓が下向きに開くようになっていますね。今まで私も特に考えたことがなかったんですが……。私もわかりませんので、建築の専門家に聞いてみました。そうしますと、重力換気ということで、下の面から窓を押して開けることによって、外の冷たい冷気が入ってくる。そして、上方へ排出していくという仕組みのようです。天井の高い建物とか、また、帰るときに見ていただいたら分かると思うんですけど、役場の本庁舎もみんな下に押して開ける窓があります。そして、3階に煙突があるんですけど、そこから出しているという説明を受けました。これを建築の専門用語で「重力換気」というそうです。

もう一つ、避難所になった場合の暑さ対策の必要性ですけれども、これは、中学校、小学校、幼稚園、それぞれの体育館は災害時の避難所に指定されています。実際、今の季節にそこで過ごすとなると大変な苦労になると思います。空調設備の必要性は我々議員も重々認識しておりますので、町のほうに議会から継続的に強く要望していきたい、このように考えています。以上です。

○議長（中島貞次） 渡邊莉世議員。

○渡邊莉世議員 それについてなんですが、体育館への空調設置については断熱性があることを要件としますが、現在の小・中学校の体育館の断熱性はどうなっていますか。

○議長（中島貞次） 玉田正典議員。

○玉田正典議員 残念ながら構造までは私自身は承知しておりませんけれども、建築の基準に沿って、それぞれ建設されているものだという認識を持っておりますので、そこら辺の部分は基準にのっとってなされていると思っています。以上です。

○議長（中島貞次） 渡邊莉世議員。

○渡邊莉世議員 私はこのことについてインターネットで調べてみましたが、エアコン本体以外にも断熱性が必要だということが分かったので、大変だと思いますが、よろしくお願ひします。ありがとうございました。

○議長（中島貞次） 以上で渡邊莉世議員の一般質問は終わりました。

次、國廣ゆうあ議員。

○國廣ゆうあ議員 太子東中学校2年國廣ゆうあ、通告に従い質問します。

新型コロナウイルスの感染拡大が続いているが、現在議会としてどのような対策をとっておられますか。

○議長（中島貞次） 森田哲夫議員。

○森田哲夫議員 國廣議員の問い合わせにお答えさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症が日本で蔓延し始めてから2年半が経過し、変異を繰り返す新型コロナウイルスにより、現在第7波を迎える、感染拡大が続いている。変化するウイルスの正体を正しく知って、その時々に適した対策を行う必要があります。

議会としては現在、次のような対策をとっています。

1、議員及び議会事務局職員は、マスクの着用、手指消毒、検温を徹底しています。37.5度未満で体に異常がなければ、本会議や委員会等に出席できますが、37.5度以上の場合はすぐに帰宅して自宅療養といたします。議員以外の人が議会棟に用事で入る場合も同様のことを行います。

2、議員本人が感染し陽性となった場合は、速やかに議会事務局等に連絡をとり、保健所等の指導のもと、自宅療養等を行います。また、濃厚接触者となった場合も議会事務局に連絡し、いずれもPCR検査等で陰性になれば、保健所の指示による期間以降は議会に登庁できます。

3、予防策としてワクチン接種3回目が終了し、4回目が高齢者を中心に開始されました。

議員及び職員も全員が順次接種をしてまいります。

4、議員活動として公共施設等に出向くことも多いですが、その際はマスクの着用、手指消毒、検温等を行っています。

5、対象となる町民に対して、コロナワクチンの4回目の接種の推進及び児童生徒にもワクチン接種の促進を図ること。また、家族内感染や学校施設等でのクラスターの予防、循環型扇風機による徹底した換気対策を講じること等を町に訴えています。以上でございます。

○議長（中島貞次）　國廣ゆうあ議員。

○國廣ゆうあ議員　私たちは今、給食のときは黙食が徹底され、体育の授業や部活動以外では必ずマスクを着用しています。今はワクチンや飲み薬なども開発されており、若い世代は軽症が多いとニュースでよく耳にすることからも、向かい合ってしゃべりながら給食を食べたりしたいと思うのですが、どのように思われますか。

○議長（中島貞次）　森田哲夫議員。

○森田哲夫議員　新型コロナウイルスの感染拡大前の生活に戻りたいと思うことは誰しも考えることでございます。不便な生活が2年半以上も続いているので、大変だと思います。

厚生労働省は、外では十分な距離があればマスク着用はしなくてもいい。室内でも距離をとつてのマスク無しの会話は大丈夫と言っていますが、教室などでは少し難しいと思います。

今後、新型コロナウイルスが普通の風邪と同じような扱いになれば、もう少し生活しやすくなると思います。やがて様々な飲み薬が登場し、ワクチン接種とあわせて、新型コロナウイルスへの対処法が確立されれば、以前のような暮らしに戻る可能性もあります。そのため、新型コロナウイルスの正体を正しく理解した上で、新型コロナウイルスと共生した持続可能な社会を創造していくことが強く求められています。大自然に対する畏敬の念を持ち、人間の知識・学問を超えた自然の摂理に沿った自律・思いやり・共生・創造の念を培うことにより、マスクなしの生活ができる日が来ると考えます。私たち人間が英知を出し合い、ウイルスと共存する新しい生活様式を模索して、共にこれらの問題を乗り越えていきたいと思います。以上です。

○議長（中島貞次）　國廣ゆうあ議員。

○國廣ゆうあ議員　新型コロナ感染症対策についてのことがよくわかりました。質間に答えていただきありがとうございました。次の質間に移ります。

社会科の学習で日本は超高齢社会と学びました。太子町は県内で最も15歳未満の人口が多く、他市町に比べると若者が多い町ですが、少子高齢化は確実に進んでいます。そのため、ほかの自治体と同じように少子高齢化対策をとる必要があると思いますが、議員の皆さんには町の取り組みについてどのように考えておられますか。

○議長（中島貞次）　吉田正之議員。

○吉田正之議員　大変大きな質問で、回答するのも戸惑うところですけども、まず、この人口減少、高齢化社会は地球規模の問題であり、現在人口が増えているのはアフリカ大陸のみです。国連でもSDGs（持続可能な開発目標）の11に「住み続けられるまちづくりを」と提唱しています。少子化の原因是、多くの要素が重なり合って起きている現象ですから、これをやつたらすべて解決というわけにはいきません。

太子町議会としては、少子高齢化の原因を取り除くため、人権が尊重され、子育てのしやすい環境の地域にする。これには当然子どもたちのよりよい学びの場を提供していく。若者が住みやすい地域にする。若者の働く場所、働きやすい環境をつくる。高齢者が健康でいきいきと生活できる環境をつくる。基本的にこのように考えていますが、具体的には太子町内の企業の育成を図り、太子町内で多くの働く人が住んでもらえることを考えています。

ぜひ太子町にも多くの優良企業がありますので、中学生の皆さん、大人になったら太子町で働くか太子町で起業するかして、太子町に住み続けてください。あなたの力を太子町は必要としています。以上です。

○議長（中島貞次）　國廣ゆうあ議員。

○國廣ゆうあ議員　少子高齢化対策についてのことがわかりました。質問に答えていただきありがとうございました。以上で一般質問を終わります。

○議長（中島貞次）　以上で國廣ゆうあ議員の一般質問は終わりました。

次、西尾咲夢議員。

○西尾咲夢議員　太子西中学校3年西尾咲夢、通告に従い質問します。

体育館や教室などの照明は、毎月の電気代の面からLED化を進めていくほうがよいと思いますが、どう思われますか。

また、現在太子町の一部の小学校の屋上にソーラーパネルが設置されていて、電気代の面だけではなく、SDGsの観点からもソーラーパネルを設置する学校を増やしていくのがよいと私は思います。このことについて、どのように思われますか。

○議長（中島貞次）　首藤佳隆議員。

○首藤佳隆議員　小・中学校の体育館、教室などの電灯をLED化してはどうかという質問にお答えします。

まず、4つの小学校の普通教室については、6カ年計画が立てられており、現在、LED化に向けて計画的に進められています。

中学校については、太子東中学校の教室は、一昨年度の大規模改修でLED化は済んでおります。太子西中学校については、来年度以降、使用頻度の高い教室からLED化を進める予定と聞いております。さらに、中学校の体育館については、今年度中に、LED化する予定になっており、そのほかの場所については、教室のLED化が済み次第、計画的にLED化を進めていく予定であると聞いております。

LED化への切換えは費用がかかりますが、長い目で見ると町にかかる費用の節約につながると思いますので、計画どおり進められているか、これからもチェックしていきたいと思います。

次に、小・中学校の屋上にSDGsも踏まえて、ソーラーパネルを設置してはどうかという質問にお答えします。

現在龍田小学校、斑鳩小学校の屋上にソーラーパネルが設置されています。学校の消費電力の幾らかの支えにはなっているとのことです。しかしながら、ソーラーパネルの設置には莫大なコストがかかり、それらを維持するためには一定のコストもかかってきます。SDGsの考え方から、クリーンエネルギーの利用の推進は理解できるので、今後、SDGsの考え方とかける費用に対してどのくらいの効果があるのかということ——難しい言葉で言うと費用対効果——の両面から検討していく必要があると考えます。

いずれにせよ、お金が必要になることですから、すぐ実現させることが難しいと思いますが、西尾議員の御意見は教育委員会にきちんと伝えていきたいと思います。以上です。

○議長（中島貞次）　西尾咲夢議員。

○西尾咲夢議員　前向きに検討していただけるということですので、期待いたします。ありがとうございました。

○議長（中島貞次）　以上で西尾咲夢議員の一般質問は終わりました。

次、安田芽咲議員。

○安田芽咲議員　太子東中学校1年安田芽咲。

町内には子どもが自由に遊べる公園が少なく、多くの子どもがゲームをして遊んでいるように思います。自由に遊べる公園が増えると、子どもたちみずから運動したいと思うようになり、健康にもよいと思うのですが、議員の皆さんは、町内の公園の状況についてどのように考えておられますか。

○議長（中島貞次） 長谷川正信議員。

○長谷川正信議員 私も同感です。確かに、自由に遊べる公園は少ないと思います。

公園は、自治会が管理する公園と町が管理する公園の2種類に分かれていますので、何か要望があれば、自治会が管理する公園の場合は、各自治会内の子供会などから自治会へ、町が管理する公園の場合は、学校から町へ言ってみてください。

私も、公園で自由に遊べるようにそれぞれに働きかけますので、皆さんも気がついたことは声を上げてください。お互いに頑張っていきましょう。以上です。

○議長（中島貞次） 安田芽咲議員。

○安田芽咲議員 私たちは、町外など遠くへは子どもたちだけで遊びに行くことが出来ないので、近くに中学生が楽しめるようなアトラクションや場所があればいいなと思っています。議員の皆さんには、太子町にそういった施設をつくることについて、どのように考えられていますか。

○議長（中島貞次） 長谷川正信議員。

○長谷川正信議員 現在、太子町総合運動公園の福井大池ウォーキングロードにはストレッチ器具が設置され、また太子町総合公園体験学習施設では、小・中学生向けに様々な講座が用意されていますが、安田議員がイメージするものとは異なるかと思います。

中学生が楽しめるようなアトラクション施設があれば、確かに体を動かす機会が増えると思うのでよい提案だと思います。

しかし、内容や規模によっては、安全管理のために補助員を配置しなければならない場合があると思いますので、一度学校を通じて町へ要望書を提出されてはいかがでしょうか。

内容によっては時間がかかるかもしれません、一歩ずつ問題を解決しながら前へ進めていきましょう。以上です。

○議長（中島貞次） 安田芽咲議員。

○安田芽咲議員 子どもが自由に遊べる公園についてお答えいただき、ありがとうございました。

○議長（中島貞次） 以上で安田芽咲議員の一般質問は終わりました。

次、前田愛羅議員。

○前田愛羅議員 太子西中学校3年前田愛羅、通告に従い質問します。

太子町のホームページを見ると、令和4年7月1日現在の太子町の人口は3万3,749人で、平成24年度をピークに少しづつですが減っているようです。近年少しづつ減少している太子町の人口を増加させ、若い世代も暮らしやすいまちにしていくために必要なことは何だと考えますか。

○議長（中島貞次） 松浦崇志議員。

○松浦崇志議員 錛い質問、ありがとうございます。回答するのにたくさん調べ物をさせていただきました。僕自身も勉強なりましたので、それを踏まえて回答させていただきます。

まず日本全体と比較してみたいと思います。日本の人口は、平成24年は約1億2,759万人で、令和4年は約1億2,484万人です。10年前に比べ275万人の減少（-2.1%）となっています。

一方、太子町を見ると、平成24年度末は3万4,681人で令和4年7月時点では、3万3,749人です。10年前に比べ932人の減少（-2.6%）となっています。日本全体の平均と同じような数字と

なっています。

近隣市町の状況は、姫路市が-2%、たつの市が-7.4%、宍粟市が-14.8%ですので、近隣市町と比べると減少幅は緩やかであることがわかります。

または「年少人口」といって人口に占める15歳未満の占める割合は14.7%で、これは兵庫県で1番高い数字です。つまり、兵庫県内で一番若い町ということが言えます。これは自慢できるポイントだと思います。

ただ、今後の人口予測では、総人口は2020年と比較して2025年には97.7%、2035年には91.5%、2045年に85.1%になると予測されていますので、前田議員御指摘の「近年少しづつ減少している太子町の人口を増加させ、若い世代も暮らしやすい町としていくために必要なことは何だと考えますか」という質問は、今から真剣に考えていく必要があります。

まずは「子育てをするなら太子町で」と思ってもらえる大人を増やすことが大切です。安心して子育てができるよう様々な支援策を充実させる必要があります。そして、そこに暮らす子どもたちにもっと太子町のことを好きになってもらうことが大切です。皆さんに喜んでもらえるような楽しいイベントを企画したり、町内にもっとお店や会社を増やしたり、学校生活をより快適でより楽しく過ごしてもらえるような環境づくりに取り組むことが大切だと思っています。

ちなみに、皆さんの学習環境を整えるための取り組みとして、令和2年度、ICT教育を推進することを目的に、町内の中学校と小学校の全生徒を対象にタブレット端末が導入されました。また、令和元年度末には、暑い夏や寒い冬にでも、快適に学校生活が送れるように、町内のすべての小・中学校の普通教室にエアコンが設置されました。特別教室については、この夏休みから工事が始まっており、来年の1月ごろに完成予定と聞いています。たつの市や姫路市の学校ではまだすべての教室が対象になっていないので、これも太子町として自慢できるポイントです。

これからも太子町のことを自慢できるポイントをたくさんつくっていくことが町の発展に欠かせないテーマだと思っています。

また、太子町のような地方の町の人口減少の大きな理由は、東京都や大阪府などの大都市圏に人口が集中していることです。大学や専門学校で一度町外へ出てしまうと、就職の関係でなかなか地元へ帰って来ないということが原因の一つだと言われています。コロナ禍によりテレワークが増加したことなど働き方が変化しており、今後は地方住まいも増えると言われていますので、その点については期待をしているところです。以上です。

○議長（中島貞次） 前田愛羅議員。

○前田愛羅議員 とてもよい意見が聞けて、私もとても勉強になりました。ありがとうございました。

○議長（中島貞次） 松浦崇志議員。

○松浦崇志議員 最後に、中学生の皆さんに一言お願いがあります。

中学生活の残された時間を大切に過ごして、同級生と思い出をたくさんつくってください。勉強にスポーツに文化芸術に一生懸命チャレンジし、自分が目指す高校や大学などへ進んでください。まずは太子町のことを外から見て、感じて、そして将来、その学びと経験を太子町に持ち帰り、この町で暮らしてもらいたら最高です。そうなれば、太子町に多様性が生まれ、もっと暮らしやすい町になると思います。

皆さんのこれからを応援しています。ふるさとはいつも君たちの味方です。以上です。

○議長（中島貞次） 前田愛羅議員。

○前田愛羅議員 これから太子町の人口が増えていけばよいと思うので、自分の思う中学校生活をもっと楽しんでいきたいと思います。以上です。ありがとうございました。

○議長（中島貞次） 以上で前田愛羅議員の一般質問は終わりました。

次、大西遙稀議員。

○大西遙稀議員 太子東中学校3年大西遙稀、通告に従い質問いたします。

年々スマホなどのSNSで悪口などを言われ、いじめられている人が増えているように感じます。また、そのことによって不登校になる場合もあります。そのため、インターネット上のトラブルやいじめを減らしていくことが重要と考えますが、それらを減らしていくために何かできることはあると思いますか。

○議長（中島貞次） 出原賢治議員。

○出原賢治議員 大西遙稀議員にお答えいたします。

いじめにあった人はとても嫌な思いをして、体も心も傷つけられます。いじめた側は軽い気持ちであったとしても、傍観した人もそこまで考えてなくとも、本人にとっては、それが原因で不登校になったり、自殺につながったり、トラウマになって一生に影響するようなことがあります。だから、いじめは深刻な人権問題と考えて、学校も地域ももちろん町としても真剣に取り組まなければならない問題だと考えております。

いじめを減らしていくために根本的に大事なのは、いじめたり悪口を言ったりする側がそれをやめるということ。あるいは周りがやめさせるということです。自分が同じようにされたらどう思うか。悪口を言われた人がどう感じているか。相手の気持ちに立って想像力を働かせ、勇気を出して行動できる人がどれだけいるかということが、いじめを受けて悩んでいる人を救うことにもなります。そのための教育、あるいは啓発、こういったことが町としても取り組まれている課題ですが、ぜひ皆さんも一緒に考えてください。

インターネットやSNS、これは向かう先がパソコンの画面やスマホですよね。面と向かって言えないことでも、書いてしまうことがあります。画面の向こうに生身の人間がいるということを忘れてしまいがちです。文章だと誤解を生みやすいということもあって、トラブルも起こりやすいと思います。これは中学生に限らず大人でも同じことです。だから送信ボタンを押す前に、後でこれを人が読んだらどう思うかをもう一度考え、アカンなと思ったら送信をやめる。こういった一人一人が相手の立場に立って考える感性、想像力が大切だと思います。

いじめがあればそれを見過ごさないで、周りの人や、あるいは本人も勇気を持って誰かに相談する。先生や学校のスクールカウンセラーの人でもいいです。そうして皆で支えてください。いじめを起こさせない、やめようと言えるような風土や人間関係をつくることが大切です。そういう正義が通る教室をぜひ目指していってください。

誰もが安心し充実した学校生活を送っていただきたい、そのように私は願っております。以上です。

○議長（中島貞次） 大西遙稀議員。

○大西遙稀議員 僕もその意見には大変共感します。

学校で行われるいじめよりもインターネット上で行われるいじめは、先生方の目が届きにくかったりして対策が難しいと思います。そこで僕は、保護者の方々に先生方からインターネット上でのいじめなどの対策について話されていると思うのですが、具体的な例などが話されていないことが多いと思いますので、そこら辺の具体的な例や対策を話していただけるととても助かります。次の質間に移ります。

学校でも「不審者が出てから気をつけて下校するように」と先生から言われたり、「不審者が出て」とメールが送られてきたりすることがあります。

子どもの不安をあおるような事件が増えているので、僕はもっと防犯カメラを設置すればよい

と思います。

議員の皆さんには、不審者による事件を未然に防ぐためにはどのような対策をすべきだと考えますか。

○議長（中島貞次） 長谷川正信議員。

○長谷川正信議員 私も防犯カメラ設置については、同感です。

現在、令和4年3月末の時点で、自治会が町と県の補助金制度を利用して設置している防犯カメラは75台あります。最近では、令和元年度に13台、令和2年度に14台、令和3年度に7台と、この3年間で34台設置されています。

防犯カメラを設置するためには、自治会や学校からの申請が必要です。また、防犯カメラの設置以外にも、太子町では各種団体の協力で、青色パトロールの実施や児童生徒の下校時間に合わせて、見守り隊やながらウォーキングを推奨するなどして対策をとっています。防犯カメラを増やしていくのも一つの方法ですが、地域の見守りを強化することで犯罪が起きにくい地域になることが重要だと考えます。以上です。

○議長（中島貞次） 大西遙稀議員。

○大西遙稀議員 僕も防犯カメラの設置に対して補助金が出ていることは調べたのですが、それを知っている企業の人たちをもっと増やすために、ポスターなどで紹介をしたりしていけたらよいと思います。

太子町のホームページを見ると、防災の項目のほうが防犯の項目よりも圧倒的に多いと思うのですが、それについてはどう思いますか。

○議長（中島貞次） 長谷川正信議員。

○長谷川正信議員 私は防犯も災害も同じように大事だと思います。時期時期を見て、その大事なことを発信していく必要があろうかと考えます。以上です。

○議長（中島貞次） 大西遙稀議員。

○大西遙稀議員 前向きに検討していただいているということですので、期待いたします。次の質問に移ります。

フードドライブの活動を僕たちの中学校でもしたことがあります、実際にフードドライブの活動を進んでしている人は少ないと思います。

家庭で余っている食品などが寄附され、福祉施設や福祉団体などで活用されるこの取り組みは、食品ロスなどにもつながり、とてもよい活動だと思います。

フォードドライブのような考えを広げていくためには、どうすればよいと思いますか。

○議長（中島貞次） 井村淳子議員。

○井村淳子議員 時間が差し迫っておりますので、少しオーバーするかもしれません。

大西議員の質問にありますように、フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄り、それらを福祉施設や福祉団体等へ提供する活動です。

太子町では、食品ロスの削減と生活に困っている人の支援を目的として、地域全体で取り組む体制確保のため、令和2年10月に社会福祉課と社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、NPO法人フードバンクはりまの4者で連携合意が結ばれ、現在この4者が実施団体となり、フードドライブの取り組みが行われております。年2回、太子町でも行われるわけですけども、7月に1回目の開催が終わり、そして11月には17日、18日に役場1階のエントランスホールで、特別なブースを設置し、再度、このフードドライブが開催される予定です。

大西議員が言われるように、太子東中学校でも生徒会が主体となり、校区の小学校に声もかけていただき、フードドライブの活動が大きく広がったとお聞きをしております。その様子が3月

号の広報たいしの表紙にもなっておりました。また、太子西中学校でも同様に、生徒会の皆さん
が主体となって開催し、多くの食品や日用品が集まつたとお聞きしております。

町では年2回のフードドライブだけではなく、社会福祉課と社会福祉協議会に常設窓口を設け
ておりますので、常時、そういう品物、食品等は受け付けをしております。この件につきまして
は、町のホームページ、広報等でもお知らせをされているところでございます。

このようにフードドライブにつきましては、少しずつではございますが、着実に理解の輪は広
がってきていると考えております。

今後、フードドライブのような考えをさらに広げていくためには、まず知っていただくこと、
認知度を上げること、取り組みの輪を広げていくことだと考えております。

まだまだフードバンクやフードドライブのことを御存じない方が多いのが現実でございます
が、協力していただける企業にも呼びかけたり、また認知度を上げるための効果的な広報等を町
にも考えていただき、そして太子町の取り組みも議員として研究をしたりし、そのような中でい
い方法があれば、どんどん提案をしていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

○議長（中島貞次） 大西遙稀議員。

○大西遙稀議員 僕もフードドライブの活動がSDGsと関連づけて広がっていくよう願います。
これで一般質問終わります。

○議長（中島貞次） 以上で大西遙稀議員の一般質問は終わりました。

次、久米田琥悠議員。

○久米田琥悠議員 太子西中学校3年久米田琥悠、通告に従い質問します。

太子西中学校から太子町役場までの道は狭い上、交通量も多いです。今のところ大きな事故や
怪我等は起こっていないようですが、先生の話によると時々苦情の電話があるそうです。

私たちの交通マナーについても考えていく必要はありますが、歩行者や自転車だけではなく、
車にとっても通行しやすい道路にしていくために、歩道をつけたり、道路北側の溝に蓋を付けた
りして道路の幅を広げるほうがよいと思います。このことについて、どのように思われますか、
考え方をお尋ねします。

○議長（中島貞次） 清原良典議員。

○清原良典議員 久米田議員の御質問にお答えします。

このたび御指摘のありました道路につきましては、私も、太子西中学校の前身であります太子
中学校の卒業生であり、よく知っております。

当時は、この道路沿いの南側には家もない状態で、北側には現在と同様の水路がありました。
今では、南側には家屋が8軒建ち、最近、西の端に農業用倉庫も建ちました。そうなれば、道路
を広くするには、北側の水路に蓋をするという考え方しかないのですが、あの水路は昔から、今日
現在も含め、農業用水路として活用されていて、また、水路を管理する必要性からも蓋をすると
いう考えは難しいと考えます。

数年前より太子町として、交通安全点検が行われておりますが、何かよい安全対策方法がない
か検討されているところですが、通学の登下校時に時間規制をかけ、一般車両の通行を禁止する
手法。また、現状の道路に外側線やグリーンライン等を入れ、歩行者の通行の確保に努めたり、
速度規制区域として通行車両にも安全を促すといった方法が考えられますが、実行するには、警
察との協議、さらに地元自治会との協議や協力が必要です。時間のかかることがありますので、まずは安全看板の設置を太子町で行い、通行者に安全を促すしかないと想います。そして、
今後においても、安全な通行を確保するために太子町議会と太子町当局が協議を行い、よい方法

を考えていきたいと思っております。

ちなみに、近年、太子町の中で道路を新設する場合は、幅6メートル以上を必要としておりますが、今回指摘されております道路の幅は4メートルです。追加でお知らせさせていただきます。以上です。

○議長（中島貞次） 久米田琥悠議員。

○久米田琥悠議員 前向きに検討していただいているということで嬉しく思います。また、この議会で様々な事業への質問がありましたら、その事業を進めるためのお金は余裕がありますか。

○議長（中島貞次） 清原良典議員。

○清原良典議員 毎年、2月から3月にかけて、4月1日からの、翌年のお金、いわゆる予算を決定します。ほとんどがそれで固定されてしましますので、今からこういう——今日いろんな要望をきましたが、お金がかかる要望が多いので、これは真剣に来年の3月議会に上程をして、少しでも解決する方向に持っていきたいと思いますが、ほかの議員も言われたように、今日の趣旨の御質問は、再度学校、校長先生によくお願いをして、きちんと太子町のほうにお願いをしてください。私にいくらお願いされても、無理です。以上です。

○議長（中島貞次） 久米田琥悠議員。

○久米田琥悠議員 様々なことを教えていただいて、ありがとうございました。以上です。

○議長（中島貞次） 以上で久米田琥悠議員の一般質問は終わりました。

次、安田夏音議員。

○安田夏音議員 太子東中学校3年安田夏音、通告に従い質問いたします。

私は環境問題について興味があり、力を入れて取り組んでもらいたいと考えています。理由は普通に生活を送っていて、道にごみが多く落ちていることが気になるからです。

ほかにもテレビなどを見ていると少子高齢化や物価の上昇など様々な問題がありますが、どの問題を最も早く解決すべきだと思われますか。

○議長（中島貞次） 上山隆弘議員。

○上山隆弘議員 安田夏音議員にお答えします。

道にごみが落ちていることが気になったとき、あなたはそれを見てどうされますか。道にごみのない社会を実現させてほしいという思いがあるのかなというふうに受けますけども、今様々な問題がありますと。確かに問題や課題は人それぞれ、またどんなステージ、どういう場所で何をしているかによって答えは違います。それに複雑で、情報があふれ返る社会においては、それらをコントロールしようとする人もいます。今の社会では、例えば無理に情報をつくったり、誤ったことをあたかも正しいように流す人たちもいます。そういう中で経済も動く場合もありますが、正しい情報を見極めなくてはいけません。確かに少子高齢化、物価の上昇、それも問題です。それらは、どこが問題だと思いますか。それに、その問題の裏で何が起こっているか。また、問題はなぜ問題なのか。そのことを考えることが大切だなと思います。最初に言ったことですが、ごみ拾える価値感、あるいはそういった勇気、まるで自分が捨てたんじゃないかなと思われるかもしれないけれども、それを拾える勇気。そういうことがまず一人一人が大切にできれば、社会にある問題にそういう気持ちから気付けたなら、次にどうしていくかという行動です。社会には、おっしゃるように問題はたくさんありますが、まず気づけること。気づくためには、今こういった町とかは1人で生きていない。社会という中で、つまりはいろんな方々と同じ場所を共有しているのが社会です。自分だけがよかつたらいいという価値感が、問題につながることもあります。そういった意味から、また、私の町議会議員という立場から質問に対して思う

この一つは、個人のプライバシーがすごく大切にされる中ですけども、周りに思いやりを持っていること。共有しているものに意識を持ってほしいなというふうに、まずは思います。問題に気づく人が多くなるほど、皆で解決していくことです。ごみの回収の問題でも働きかけとして一番大切なのは、一人一人がごみを捨てるときの姿勢からです。またそこに伝えていくのが一番難しいことです。誰かがやってくれるっていうようなことではなくて、あなたも大切な町民の1人として、気づける意識があるなら次はどう解决できるか。これから的人生の中で考えてみてはどうでしょうか。将来どのような仕事につくかわかりませんけれども、もっともっといろんなことに気づいていけると思います。一人一人が活躍する場所で、今言ったこと、気づき、学び、そして行動する、それは、かかわる場所や将来立っている場所から自分ができる、気づく問題に向き合うことができればいいですね。そうすれば、あなたの周りには支え合える仲間ができます、そして組織につながり、大きな社会の問題を解決できる一員になっていると思います。つまりは、問題の根拠も大切ですけども、この質問からは、環境の問題の具体的なところではなくて、町会議員という立場もありますので、一つの町、社会の中で何が大切なのか。そういった一人一人の気持ちが大切ではないかということをお伝えしたいと思いました。

今言ったことをいま一度、今後の生活の中で考えていただき、あなたのすてきな未来を期待しています。以上です。

○議長（中島貞次） 安田夏音議員。

○安田夏音議員 質問にお答えいただき、ありがとうございました。自分の生活の中でも、もっといろんな問題に気づき、物事を深く考え、解決策が見いだせるように頑張りたいと思います。次の質問に移ります。

私は今年受験生で、進学する高校を決めなければいけませんが、最近新聞などで学校の「統合」についての記事をよく見かけるため、統合問題について関心があります。

実際太子町の中学生が受験できる高校の中でも統廃合される学校があるという話を聞いています。少子化による影響だと思いますが、選択肢が減ることは望ましいことではないと思います。高校に限らず「学校の統廃合」について、どのように思われますか。

○議長（中島貞次） 藤澤元之介議員。

○藤澤元之介議員 県内の中学3年生の生徒数がこの30年で半減しています。今まで兵庫県は、学校数を維持したまま学級数を減らして対応していました。しかし、このままだと1学年当たりの学級数が少なくなってきて、各学校の魅力や部活などを維持していくということが非常に難しくなってきます。そこで、2025年あるいは2028年に学校を統合することで、1学年当たりの学級数を確保しようとしています。でも、そしたら御心配のとおり、実際には行きたい学校に入学することが難しくなるんじゃないかと非常に不安になってると思います。県の教育委員会は、第4学区全体の定員は、中学3年生の生徒数に応じて確保しようと考えています。

では、確保されるとはいうものの全く心配はないのかというと、残念ながらそうとも言い切れません。太子町やお隣のたつの市は、姫路市の中心部のように交通網そのものが——電車やバスとかが充実していません。第4学区というと姫路市を含むんですけども、相生市、たつの市、赤穂市、宍粟郡、神崎郡、揖保郡、赤穂郡、佐用郡という形の通学範囲になってますけども、そういったところ、幾ら4学区全体で定員数を確保しても、やっぱり自分が学びたいことを学びたいところで学ぶということが難しくなることも、もしかしたら考えられるかもわからない。だから、この統合計画そのものに対して、望ましい規模だけにとらわれることなく、皆さん生徒も含めて、保護者、あるいは地域の声を聞いて、よりその魅力のある学校になるように検討すること、やっぱり先生たちや保護者の皆さん、そこから、この地域で働いている我々大人もそうです

けども、署名をしてという形で、揖龍教職員組合の先生が中心になっていろんな会社の人たちに声をかけて署名運動、兵庫県に訴えていく取り組みもやっています。普通科に設置している国際文化や自然科学などのコースも今後、形が変わってくるということも聞いていますけども、これからも皆さんでしっかりと確認していく必要があると思っていますので、その動向も含めて今後注視したいと思います。以上です。

○議長（中島貞次） 安田夏音議員。

○安田夏音議員 取り組みなどについて、非常に勉強になりました。私もこれから受験勉強などがあるので、より良い自分の将来の仕事が見つけられるように頑張りたいと思います。以上で一般質問を終わります。

○議長（中島貞次） 以上で安田夏音議員の一般質問は終わりました。

次、鈴田海咲議員。

○鈴田海咲議員 太子西中学校3年鈴田海咲、通告に従い質問します。

現在、太子西中学校の女子トイレは和式がメインで、洋式トイレは各フロアに一つしかありません。小学校から順次洋式トイレに改修される予定と聞いていますが、洋式トイレに慣れた小学生が中学校に入学すると戸惑うことが考えられます。

家庭や外出先も洋式トイレが一般的になっていることも踏まえ、学校のトイレ環境について、どうすることが望ましいと思われますか。

○議長（中島貞次） 井村淳子議員。

○井村淳子議員 鈴田議員の質問にあるように、最近では家庭や外出先も洋式トイレが当たり前になってきております。超高齢社会になり、ひざを曲げるとか、かがむとか、そういう姿勢が大変難しくなってきているお年寄りも増え、洋式トイレの利便性が高まっております。そんな中、町では基本的に幼少期の子どもが多く使用する保育園や幼稚園、子育て支援施設を優先して和式トイレを改修して、洋式トイレを設置してきたところでございます。

ここで令和3年6月現在の太子町の小・中学校の学校別洋式化率を申し上げます。体育館のトイレやプールのトイレ等も含む全便器数のうち、洋式トイレになっている割合を洋式化率と言いますけれども、まず、小学校では、龍田小学校88.4%、太田小学校95.3%、斑鳩小学校68.8%、石海小学校66.2%となっております。続いて中学校では、太子東中学校87.9%、太子西中学校24.5%となっておりました。

以上のことから、小・中学校を通して、太子西中学校の洋式化率が1番低いということがわかりました。内訳を見てみると、太子西中学校では、全便器数が94基ございまして、そのうちの23基だけが洋式便器もしくは多目的トイレになっていることもわかりました。このことから、鈴田議員が言われるように、太子西中学校の女子トイレは和式がメインで、洋式トイレは、各フロアに1つしかないという事情がわかりました。

太子東中学校の教室棟は昭和57年（1982年）に建築され、築37年経った令和元年と令和2年度にかけて大規模改修が行われております。今の太子西中学校と同じように和式トイレが中心で、各フロアに洋式トイレが1基ずつしか設置できていない状況から、大改修を経て洋式トイレになったところであります。

一方、太子西中学校の教室棟は、平成13年（2001年）に建築され、築後21年経過しております。公共施設の中では比較的新しいほうです。建築当時、家の洋式トイレは家族が使うので問題はないけれども、不特定多数が使う洋式便器に座ることに抵抗があるとの地域の声もあり、保護者の声もあり、和式トイレの設置になったようだと教育委員会でお話を聞きました。

このたびの鈴田議員の一般質問を受けまして、先日8月4日、太子西中学校のトイレの現状を

見させていただきました。大西校長先生を初めとする先生方や生徒会副会長山本さんからも話を聞かせていただきました。

職員室の並びの女子トイレには便器が8基あり、鈴田議員が言わわれているように、そのうちの一基のみ洋式トイレでございました。そして休み時間になると、洋式トイレを使うために、女子トイレでは毎回長い行列ができているとのお話もお聞きしました。

鈴田議員が指摘されているように、洋式トイレに慣れた小学生が太子西中学校に入学すると非常に戸惑い、トイレの環境にびっくりされるということが考えられます。

洋式トイレが少ないために生徒の皆さんが排泄を我慢するようなことがあってはならない。特に、洋式化率の低い太子西中学校の現状からしますと、安心して学べる環境が一番に望まれることでございます。1日でも早く洋式トイレに改修されるように進める必要があると考えております。

教育委員会でも太子西中学校のトイレの洋式化につきましては、来年度、令和5年度にトイレの改修のための実施設計を行うということが出てきております。また、それを受けて令和6年度には工事着手の予定と聞いております。

残念ながら鈴田議員がおられる間には、全部が洋式トイレにはなりませんけれども、今後この状況を町長にも訴え、早期の洋式トイレの実現に向けて後押しをしていきたいと考えておりますので、どうかよろしくお願ひいたします。

○議長（中島貞次） 鈴田海咲議員。

○鈴田海咲議員 私たち生徒もそうですが、新しく入って来る小学生も便利に、そして快適に過ごせるよう、これからもよろしくお願ひします。ありがとうございました。

○議長（中島貞次） 以上で鈴田海咲議員の一般質問は終わりました。

最後に、本日中学生議会に参加された皆さん一人一人に感想をお聞きしたいところですが、時間に限りがありますので、普段、議会で使用している表決ボタンを使用して、思いを表していただきたいと思います。

それでは、本日の中学生議会に参加して「よい経験になった」と思う人は、ボタンを押してください。

よろしいか。

（議場内モニターに結果表示）

全員から「よい経験になった」との回答をいただきました。ありがとうございました。

これで一般質問を終わります。

以上で本日の日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

太子町議会第500回記念太子町中学生議会を閉会します。

（閉会 午後0時12分）

~~~~~

### 議長挨拶

**○議長（中島貞次）** 閉会に当たりまして一言御挨拶を申し上げます。

本日、太子町議会第500回記念として中学生議会を無事開催できましたのは、中学生議員はじめ関係者のみなさまの御理解、御協力によるものと感謝申し上げます。

みなさんが今日、本物の議場で議会を疑似体験された経験が、今後の学生生活や人生により影響を与えるものとなったのであれば、私たちとしても喜ばしいことです。

また、今回参加出来なかった学生の皆さんにも今日の経験を話していただき、一人でも多くの

人に議会や行政、社会に关心を持って貰える機会となれば、なお嬉しく思います。

まだまだ厳しい暑さが続くと思いますが、中学生議員のみなさんにおかれましては、今後も元気に勉強や部活動などに励んでいただければと思います。

以上、誠に簡単措辞ではございますが、閉会の御挨拶とさせていただきます。

本日はありがとうございました。

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

令和4年12月1日

太子町議会議長 中島貞次

署名 議員 坂田麗雄

署名 議員 藤本絢



太子西中学校3年  
西 尾 咲 夢

太子西中学校3年  
渡 邊 莉 世

世

太子西中学校3年  
藤 本 紗 絵

太子西中学校3年  
前 田 愛 莉

太子西中学校3年  
藤 尾 あ め り

太子西中学校3年  
鈴 田 海 咲

太子西中学校3年  
久 米 田 瑶 悠

太子東中学校1年  
坂 田 麗 雄

太子西中学校3年  
國 廣 ゆ う あ

太子東中学校1年  
安 田 芽 咲

太子東中学校3年  
安 田 夏 音

太子東中学校1年  
安 田 芽 咲

太子東中学校3年  
大 西 遥 稀

太子東中学校1年  
大 西 遥 稀